

# ナショナルサイクルルートとは

サイクルツーリズムにより、観光地域づくりを進めるための手段

持続可能

競合との差別化

## 指定の効果

1. 国や日本政府観光局(JNTO)によるプロモーション  
→外国人観光客に人気のサイクルツーリズムの強力な推進力
2. 社会資本整備総合交付金等により、地域の取組に対して重点的に支援  
→社会資本整備
3. ナショナルサイクルルートとしてのブランド価値の向上

ルート名	延長
しまなみ海道サイクリングロード	70km
ビワイチ	200km
つくば霞ヶ浦りんりんロード	176km
富山湾岸サイクリングコース	102km
太平洋岸自転車道	1,487km
トカプチ400	403km



## 浜通りにおいてNCRを目指す理由

- 山、海、走りやすい道路等「アリモノ」を使える。よって、「持続的取り組みが可能」なことから、浜通りの全体の地域づくりにつながる。
- 自転車は欧米を中心に人気のコンテンツ。「あのfukushimaでサイクリングができる！」高いインセンティブ効果。
- 外国人サイクリストによる経済効果。5泊程度は狙える。
- 15市町村の地域住民、民間事業者、行政等が関わることができる。
- 外国人から日本人サイクリストに浸透の流れも可能。(奥会津の事例)
- 福島国際教育研究機構(F-REI)の外国人研究者への大きな訴求が見込める。

## 浜通りの「強み」～外国人目線～

### ○浜通りは、外国人に人気のコンテンツが揃っている。

- ・日本人の優しさ(サイクリングならではの触れ合い)
- ・日本の原風景が広がる里山、日本ならではの漁港の風景
- ・サムライSPIRIT、ONSEN・・・

○ほとんどが市街地でないことから、地域住民との触れ合いを仕掛け易い(サイクリストは声を掛けられやすい)

○ほとんどが整備された、走りやすい道路

○森に囲まれた道路、海沿いの道路、街中や漁港を走る道路など、バリエーション豊か。(≠所謂サイクリングロード)

○サイクリングをしているつもりがいつの間にか、ホープツーリズムも実践

# 地域づくりにつながるストーリー

浜通り全体を一筆書きする  
全長約300kmのコースを想定

## a いわきエリア

- ・ いわき七浜海道
- ・ NCRのgateway



## b 阿武隈高地エリア

- ・ 日本の原風景  
人の温もりと優しさ



## c 松川浦・南相馬エリア

- ・ samurai spiritに触れるライド

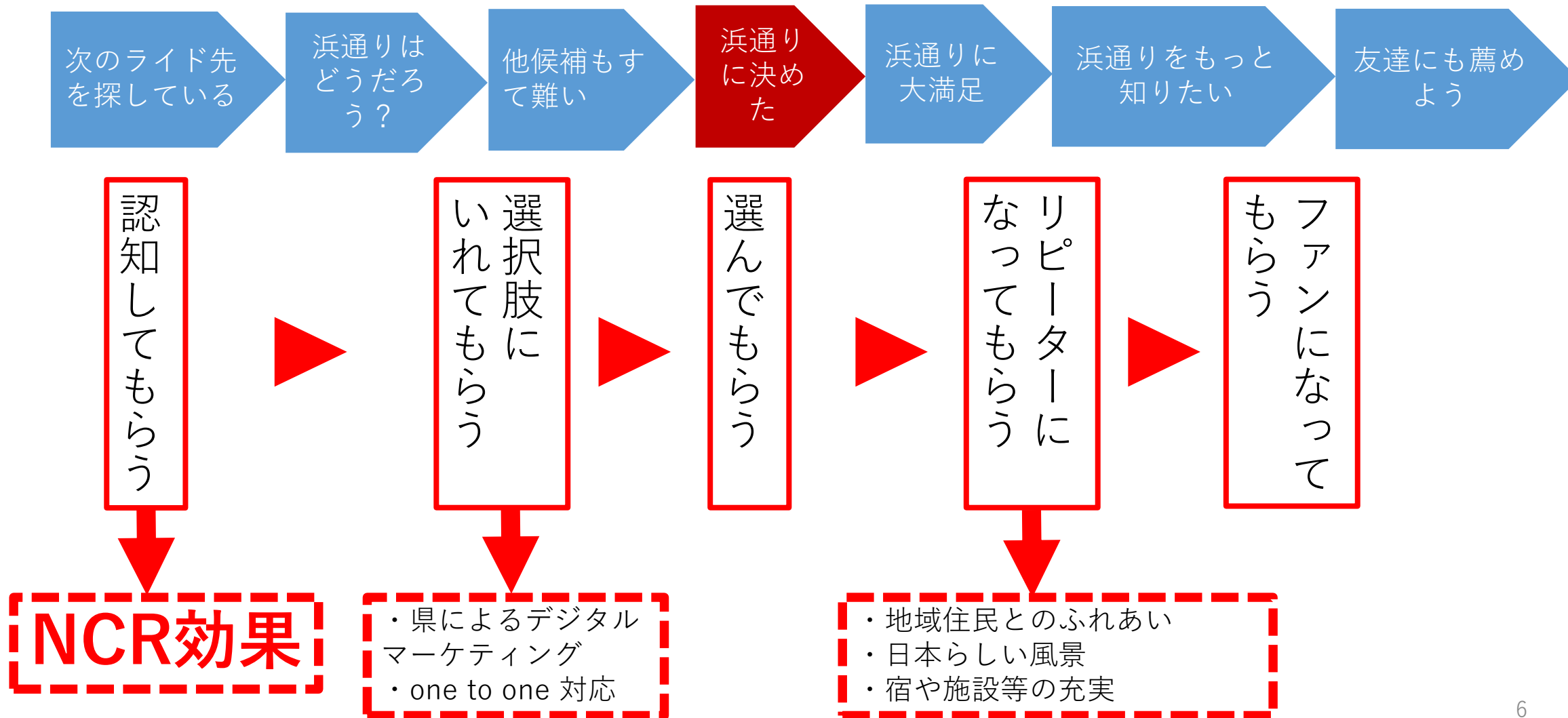


## d 南双葉エリア

- ・ 復興の光と影を感じるライド



# カスタマージャーニー





## 外国人サイクリストの最も印象的だった発言

- ・日本で、サイクリングをしたいのではない。
- ・サイクリングを通して、日本の文化を知り、日本人と交流したい。

彼らとfacebookでつながったところ、反応が良かったのは、何気ない田園や山間の風景だった。

皆さんが海外を訪れた際、地域の人々のリアルな生活に触れてみたいと、思うことはありませんか？  
例えば、観光客向けのレストラン、地元の人で賑わうレストラン、どちらをセレクトしますか？

